



沓掛小学校だより

8・9月号

未来を拓く ～元気・やさしさ・かがやく瞳～

NO. 581

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

沓掛の子供たちに充実した2学期を

校長 師岡 孝明

子供たちの元気な声とともに平成29年度第2学期が始まりました。夏休み中に大きな事故の報告がなく安堵するとともに、御家庭での充実した夏休みを過ごした様子が伺えます。教室での子供たちの話題は、休み中のそれぞれの楽しい思い出というところでしょう。

さて今年の夏は、7月中は夏らしい天候が続き夏季水泳等も予定通り実施することが出来ました。8月に入り東京地方では、8月1日から21日まで連続21日間降水を観測しました。「夏」という言葉がどこかにいってしまったかのような涼しい日もありました。しかし先週半ばから本来の「夏」にふさわしい天候が戻ってきました。

このような夏季休業ではありましたが、子供たちはそれぞれに充実した日々を送っていたと思います。

夏季休業中に沓掛小学校には、タブレットパソコンが230台配備されました。5・6年生の各教室に収納ボックス2台を設置し、5・6年生には一人1台の割合で個人利用を考えて現在設定作業を進めているところです。

杉並区ではすでに普通教室には電子黒板、理科室にはビックパット等のICT機器が導入されています。昨年度から「ICT公開授業」と称して上述の機器の活用を授業内で図ってきているところです。では、今回タブレットが配備され授業がどう変わるのでしょくか。私は、配備されても授業自体の形態には変化はないと考えています。しかし子供たちの思考力や表現力には大きな変化が出てくると思います（もちろんこれは指導者の意図的な授業設計によることが前提です）。あくまで「タブレットパソコン」はツール（情報取得および情

報発信）の一つであるということです。今後は、沓掛小学校の教職員が一丸となって、タブレットパソコンを利用・活用して学習内容の理解を「深める」ことを進めていきたいと考えています。そしてこのような指導者側の姿勢が、児童一人一人に対して適切に情報機器を活用していくという、今後の社会にとって不可欠な資質の一つを身に付けさせるものと考えています。5・6年生には一人1台を設備していますが、4年生以下の子供たちにとっても、共用利用という形で学年に応じた活用を進めてまいります。

2学期は1年間の中で最も授業日数が多い学期です。日数で言うと1学期は72日、2学期は83日、3学期は56日（1年生～4年生は卒業式に参列しないので55日）です。2学期は83日の授業日数の間、運動会、学芸会、各学年の社会科見学や生活科見学など様々な行事が予定されています。行事の中でこそ伸びる意欲や能力を伸ばすことに指導の工夫を続けたいと考えています。

そして今学期は、教科指導を通して子供たちの学力の向上を今まで以上に図りたいとも考えています。学力向上にとって必要なのは、教えてもらうだけでなく、自分で考える習慣を身に付けることです。考える力は思考する材料である「知識」「情報」を求める力、つまり「情報収集力」が大前提になります。その能力は授業中の「先生の話」や「友達の話」をしっかりと心を傾けて聞くことによって育つものだと思います。

2学期も子供たちが楽しく学び、いろいろな能力を伸ばせるよう、教職員一同充実し成長する2学期にするために全力で取り組みますので、御協力よろしくお願ひいたします。